

協定海外留学プログラム：1 セメスタープログラム

留学先大学：国立台湾芸術大学（台湾）

大学院美術研究科 博士前期課程 美術専攻 日本画研究領域 2 年次

H・T さん

私が台湾留学を決めた理由は、学部時代の中国留学の経験があったからです。その時の体験や学びが、私にとっては価値観がすべてひっくり返ったくらいとても衝撃的で、もっと海外に行ってみたいと思うようになりました。その為修士課程に進学後、中国で学んだ水墨画についてもっと勉強したいという思いから台湾留学を決めました。

台湾では授業のカリキュラムは自分で決めるスタイルで、そのおかげで様々な分野を学ぶ事が出来ました。花鳥画や動物の絵は勿論、様々な画材を用いた創作水墨、書道や篆刻についても本格的に学べました。中国では模写の授業が殆どだったのに対し、台湾では自分で創作して描く事が多かったです。台湾の学生は子供の頃から水墨画や書道を学び、基礎が身に付いている状態で大学に入学してきます。授業もそれを基準として進んでいく為、授業についていくのは大変でした。また、台湾随一の美術大学という事もあり同級生のレベルがとても高く、怖気づいてしまう事もあったのですが、自分ももっと頑張らなければという思いになり、毎日描く事がとても楽しかったです。

授業は宿題がメインでした。授業中は先生が描く姿を見て描き方を学び、その時描かれた手本を元に宿題で描いて次の週に提出し、更に翌週に先生のコメントと共に返却される、という形です。決められたアトリエは無く、教室も自由に使える訳ではなかったので描く場所は寮の自室でした。机も特に大きいという訳では無いので慣れるまでは戸惑う事も多かったです。殆どの授業で毎回宿題が出る為放課後は自室で絵を描く事が多かったのですが、早く宿題を終わらせて空き時間を作る事を目標にできたので、作業一つ一つに集中する事ができました。

授業は全て台湾華語で進んでいきます。私は運よく日本から正規留学で来ている学生と台日ダブルの学生と出会う事ができ、二人に助けられながら授業を受ける事が出来た為、疑問点を引きずることなく勉強を進められました。同級生達もとても親切で、困っているといつでも手を差し伸べてくれて何度も助けられました。クラスメイトや他の留学生たちと登山や旅行に行き、またルームメイトの台湾人の子の実家にお泊りに行く事もあり、授業外でも充実した日々を過ごしました。

私が台湾生活の中で一番楽しかったのは夜市です。士林夜市が有名ですが他にも色々な場所に夜市があり、大学から歩いて五分ほどのところにもあったので夕飯はいつもそこで食べていました。麺やご飯もの、甘味や果物など様々なものが販売しており毎日夕飯の時間が楽しみでした。夜遅くまで開いている為、宿題に追われて食べるのが遅くなっても食べ物に困る事はありませんでした。地域ごとに夜市で売っているものが違う為、電車に乗って遠くの夜市まで行って見て回ったりしたのもとても楽しかったです。

学部で経験した中国留学と今回の台湾留学を比較すると、水墨画の基礎を学ぶ事に集中するなら広州美術学院の方が基礎は固められると思います。アトリエも24時間開放されており、交換留学生だった私は特に宿題も設定されていなかった為集中して基礎を学べました。ですが、授業は模写が基本となる為、人によるとはと思いますが、帰国後に自分の制作で生かして表現する事を考えると、模写だけでなくオリジナルを描く授業もある国立台湾芸術大学の方が応用がきくと思います。受ける授業も自分で選択する事ができる為、授業選択によっては幅広く学ぶ事ができるのも魅力でした。生活面では、国立台湾芸術大学は日本からの正規留学生も多くいる為、困った事があれば彼女達に相談する事ができました。広州美術学院では、私が行った時は私以外に日本からの留学生が一人もいなかった為、自分のサバイバル力が試されました。中国語を話さないとコミュニケーションが取れない為、慣れるまでは本当に大変でしたが中国語能力は飛躍的に上がります。私は帰国する頃には若干日本語を忘れていたくらい中国語にどっぷりでした。クラスメイトや現地の方々も本当に親切な方ばかりだったので、慣れてしまえば寧ろ生活しやすかったです。

専攻は似ていても大学ごとに特色があるので、自分が留学で何を学びたいのか大切に留学先を選び、目一杯楽しんでほしいと思います。私は留学を通して価値観が全て変化すると共に視野が大きく広がり、様々なものに目を向けられるようになりました。最初は不安でも、一歩踏み出して留学に行ってみて良かったと心から思っています。海外留学は本当に楽しいですし、多くの事を学ぶ事が出来ます。様々な属性、文化的、歴史的背景の異なる人々と出会う事になります。その時に生まれた意識の変化やできた繋がりはこの先ずっと宝物になると思うので、少しでも留学に興味のある方は是非飛び込んでみてください。